

【注意喚起】新型コロナウイルス感染症第3波に注意

学生・教職員の皆様へ

新型コロナウイルス感染症の第3波とみられる流行が始まってきました。

11月11日には、新潟県注意報が発令され、11月17日からは、新潟市内で大規模クラスターが発生しています。**新潟県外との往来に関連した感染事例が多い**ことも指摘されています。

今後、新たなクラスター発生や感染経路不明な感染者の増加が認められれば、直ちに、**新潟県注意報から、警報にランクアップした発令がなされる瀬戸際の状況**になってきております。

11月9日内閣府の新型コロナウイルス感染症対策分科会は、「**大学等では、授業そのものよりは、むしろ飲み会や寮生活、課外活動等でクラスターが発生している。**」と指摘し、「**感染リスクを高める行動（会食やいわゆる飲み会等）への注意を徹底し、リスクが高まる『5つの場面』等の注意喚起と周知を、**大学等の高等教育機関に対して要請しています。

感染リスクが高まる『5つの場面』とは、①飲酒を伴う懇親会等、②大人数や長時間におよぶ飲食、**③マスクなしでの会話、④狭い空間での共同生活、⑤居場所の切り替わり**です。

この中でも、大学内で注意すべきことは、**特に③、④、⑤**です。

⑤は、授業や仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まり、休憩室、喫煙所、更衣室で、特に注意が必要です。

基本的な感染防止対策（マスク着用、手洗い、手指消毒、換気、距離をとること）を徹底し、上記の県外への移動、飲み会、課外活動、大人数での会食、居場所が切り替わるときなどに十分に注意して下さい。

場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、屋カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。



(出典：新型コロナウイルス感染症対策分科会提言、令和2年10月23日)

本学では、**学生、教職員の高い感染予防意識のもと、対面授業が実施できており、皆様の多大なご協力に心から感謝いたします。**

新型コロナウイルス感染症第3波は、第2波に比べて、感染スピードが速いとも言われております。**大学での感染拡大予防は、日々の生活に気を付けることはもちろん、感染した場合、感染の疑いのある場合は大学構内に入構しないことが重要ポイント**になります。

学生、教職員が、**新型コロナウイルス感染症第3波に一丸となって立ち向かい**、本学の学生、教職員の感染予防のみならず、**新潟青陵大学・短期大学部が、高等教育機関（アカデミア）として新潟市民・地域の感染拡大予防の基層としての役割を果たせますよう、皆様の一層のご協力**をお願い申し上げます。

2020年11月19日

新潟青陵大学・新潟青陵大学短期大学部 新型コロナウイルス感染症対策副本部長
新潟青陵大学学長 リボウィッツよし子
新潟青陵大学・新潟青陵大学短期大学部 新型コロナウイルス感染症対策長
健康管理センター長 丸山 公男